神奈川支部報

神奈川支部報　第 26 号
発行日：2023 年 8 月 1 日
発行者：込田伸夫
発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部
横浜市青葉区若草台 2-58 込田方

支部通常総会終了後にて記念撮影

令和５年度支部通常総会開催される

令和 5 年 5 月 20 日(土) 15:00～16:30 、横浜駅西口「かながわ県民センター」301 会議室において令和 5 年度神奈川支部通常総会が開催された。

決議事項

第 1 号議案　令和 4 年度事業報告
第 2 号議案　令和 4 年度会計報告
第 3 号議案　令和 5 年度事業計画案
第 4 号議案　令和 5 年度予算案

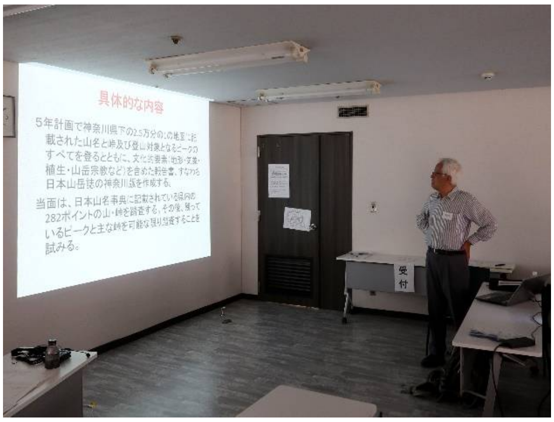
総会への出席者は 30 名(込田支部長除く)。委任状 32 名、議決権行使による賛成 10 名。合計 72 名で 議決権行使有資格者: 132 名の過半数を超えているので、 総会 は 成立していることが報告された。

次いで、支部規約第 15 条により、本総会の議長に込田支部長が選出された。

(1)永井事務局長より、令和 4 年度事業報告について説明があり、承認された。
次いで、青木会計担当より、令和 4 年度会計報告の説明があり、承認された。さらに、砂田監事より、会計監査および業務監査の結果について報告があった。
(2)永井事務局長より、令和 5 年度事業計画について説明があり、承認された。次いで、青木会計担当より、令和 5 年度予算案の説明があり、承認された。

※支部総会での決定事項は、事前配付の総会資料の原案通り承認されましたので、そちらでご確認ください。

かながわ山岳誌プロジェクト報告



発表光景

通常総会に先立ち、14：00 から、同じ 301 会議室にて、かながわ山岳誌プロジェクト報告会が実施された。森プロジェクトリーダから今までの山行経緯と今後の報告書作成についての報告が行われた。踏査山行については、2017 年 4 月 15 日に高麗山･湘南平山行からスタートし、2023 年 5 月 3 日に鷹取山･湘南平山行で終了したことになる。途中、コロナ禍のため、山行を中断しなければならない期間が生じ、結果的に 6 年かけて踏査山行を実施したことになった。

山行報告

大山参詣道裏参道　古道プロジェクト

令和 5 年 3 月 28 日(土)

雨の中の山行。蓑毛バス停で下車、金目川（春岳沢）を渡ってすぐ右には平安末期から江戸時代の建立という仁王門、大日堂、不動堂等がある。入口の仁王門では、なかなかかわいい阿吽像が迎えてくれる。これら境内の建物や仏像は、県あるいは秦野市の重要文化財に登録されている古いものだ。また、不動堂に至る石段の下には「従是石尊･不動道」と刻まれた古い石柱があり、大山参詣道の道標だということがわかる。ここから春岳沢に沿ってヤビツ峠への道を 10 分程歩くとかつて蓑毛宿坊街であったという元宿に着く。

阿吽像

説明板に、元禄年間には、15 軒の宿坊があったと書かれている。ここから一旦、古い常夜灯まで戻り、蓑毛越に向かう。この道は「関東ふれあいの道」の一部であり、秋には紅葉が美しい道である。蓑毛越えからは、「御拝殿道」といわれる石垣のある平坦で静かな裏参道を通って阿夫利神社下社に向かう。

石垣のある裏参道

下社から大山寺までは、ケーブルカー。そこからは昼食のため、コマ参道にある「旅館ねぎし」まで下る。この旅館は、三十数代続く御師（先導師）の宿坊とのことであり、建物内には大きな神棚がある。おりしも当日は、同行会員の誕生日でもあり、豆腐料理と地酒に舌鼓を打ちながらの楽しい大山古道調査山行完了の反省会となった。(記：葉上)

神棚の前で記念撮影

＜コース概略＞

秦野駅北口 8:35＝(バス)＝8:57 蓑毛 9:03～宝蓮寺境内～元宿 9:31～蓑毛越 10:48～阿夫利神社下社 11:22～下社駅＝ケーブル

利用＝大山寺駅～旅館ねぎし～大山ケーブル BS＝伊勢原駅北口
＜参加者＞砂田、永井、中山、田島、葉上

箱根湯坂道　古道プロジェクト

令和５年４月８日(土)

この山行は、昨年晩秋に計画したが、雨天のため延期していたリベンジ山行であり、古道公開山行の最終でもある。コロナ禍も落ち着いたとのことで、芦ノ湖へのバスは、外国からの旅行者など多くの観光客で賑わった。

元箱根港でバスを下車、賽の河原と芦ノ湖に浮かぶ平和の鳥居を見て、出発。一の鳥居から箱根旧街道権現坂の石畳を通り、お玉が池へ。お玉ケ池の木道上からは二子山が眼前に臨むことができる。お玉ケ池から二子山山腹の山道を通り精進池歴史館へ。歴史館からは、精進池沿いの鎌倉時代の石仏等を見ながら芦の湯にある江戸、明治の文人墨客らが集ったという東光庵前で昼食。昼食後、湯坂道入口バス停付近で国道と別れ、緩やかな尾根道へ入る。

石仏群

東光庵にて

途中、鷹ノ巣山では、鷹ノ巣城の場所を推理したりしながら気持ちの良い広々とした尾根を下る。湯坂城跡では、中島会員に持参いただいた資料により、湯坂城跡などを確認し、箱根湯本まで下った。この湯坂道には、ツバキやモミジが多く、季節によっては華やかな景色を楽しめる。(記：葉上)

＜コース概略＞

小田原駅東口 BS　8:25＝9:35 元箱根港 BS～賽の河原 9:40～一の鳥居～旧街道権現坂上 10:00～10:15 お玉が池 10:20～10:55 精進が池歴史館・石仏群 11:08～11:55 芦之湯東光庵・昼食 12:23～湯坂道入口 12:37～鷹ノ巣山～浅間山～大平台分岐 13:34～湯坂山～14:50 湯坂城址 15:00～15:35 箱根湯本駅
＜参加者＞稲垣、森(武)、田島、中島、込田、砂田、葉上

三浦･岩礁のみち　関東ふれあいの道

令和５年４月 22 日(土)

今年度から新しく関東ふれあいの道(神奈川県版)ハイキング PJT がスタートした。神奈川県には、関東ふれあいの道として、17 のコースが設定してある。これらのコースを歩き、自然や歴史・文化に触れていこうというのが、このハイキングの目的である。今回は、その第１回として、三浦半島南端近くの「三浦･岩礁のみち」を歩いてきた。

三浦海岸駅からバスに乗車し、松輪バス停にて下車。少し車道を戻ると、関東ふれあいの道の案内板が立っていて、ルートを確認して進む。周辺は、冬だとダイコン畑になるエリアだが、今は、一面キャベツ畑となっている。丘陵地帯を緩やかに下っていくと、間口漁港に出た。その先を進むと、景観はガラリと変わり、磯となる。正面には、薄っすらと房総半島の尖った鋸山が見える。

海岸線沿いを歩いた後、ひと登りして、劔埼灯台に到着。天気が良ければ、ここからは、大島や富士山などの光景を味わうことができるのだが、残念ながら、今日は曇っており、それらは全く見えなかった。

再び海岸線に下りて岩場を歩いていく。この辺りは、満潮近くになると、コースが水没する箇所が出てくるのだが、今は干潮で、無事に通り過ぎることができた。足元には、春

の浜辺の花が咲いており、ハイキングに彩りを添えてくれる。

ハマヒルガオ

ハマダイコン

車道に出て、畑の丘陵地帯を歩き、白浜毘沙門天の前を通り、浜辺に出て東京湾を眺めながらのランチタイム。

その後も磯歩きが続くが、潮が引いていたので、狭い歩行ルートではなく、磯を歩いていけた。

潮が引き、磯を歩く

磯歩きは、一旦終了するが、毘沙門漁港を通過した後、再び磯歩きとなる。この辺りの磯は、比較的フラットになり、歩き易い。

磯が歩き易くなる

さらに進んでいくと岩壁が続くようになる。ここが盗人狩と言われる所で、昔、盗賊が追われて、この山の端まで来て下を見ると、恐ろしい断崖(高さ約 30m)と怒涛の逆巻きに足がすくんでたやすく捕まったといい、それで盗人狩の名が残ったという。

盗人狩にて

風力発電の風車が大きく見え、ヨットハーバー横を歩いたところで、本コースの磯歩きは終了した。

宮川町バス停からバスに乗車し、三浦海岸駅に向かう。駅の一つ手前のバス停で下車し、店に入り、反省会を行った。

今回、普段の登山道歩きと違って自分で歩くルートを探すというのは、沢登りに近い歩き方となり、新鮮に感じた。なお、本コースを歩く場合、前もって干潮時刻を知っておかないと、足元は、沢登りと同じ状況になることを付記したい。(記：永井)

＜コース概略＞

三浦海岸駅 9:13＝(バス)＝9:30 松輪バス停～9:31 コンビニ 9:41～〈舗装路〉～10:01 間口漁港～<一部磯歩き>～10:32 剱崎灯台10:37～〈舗装路〉～10:40 トイレ 10:44～〈磯歩き〉 ～11:29 車道に出る～<車道歩き〉 ～12:12 白浜毘沙門天～12:14 海岸に出る～<磯歩き>～12:20 昼食 12:45～<磯歩き>～13:08 車道に出る～<車道>～13:18 磯に入る～〈磯歩き>～13:31 盗人狩 13:38～〈磯歩き>～14:04 車道に出る(トイレ)14:13～<舗装路>～14:24 宮川町バス停 14:44＝(バス)＝15:10 上宮田バス停
＜参加者＞森(武)、込田、稲垣、中島、森(静)、藤川、関口、東山、田島、永井

秦野盆地湧水群・葛葉緑地　自然観察会

令和 5 年 4 月 29 日(土)

この観察会は、昨年 9 月に実施予定でしたが、台風のため中止となった企画です。今日は、連休初めの昭和の日の祝日で、まずまずの天気でした。

予定より早く小田急線秦野駅を出発し、まず初めに、駅前の秦野名水「まほろばの泉」を観察しました。皆さんは、表尾根や大山行きで、秦野駅の乗降は何度もしていると思いますが、この名水はご覧になっていないと思います。

その後、弘法の清水にて清水を味わい、

荒井湧水からのせせらぎを経由し、今泉の湧水池へと進みます。池のほとりには、キショウブが咲き乱れ、土手では普通あまり見られないシロバナタツナミソウが観察されました。

八坂神社の大椋（中心のムクノキは枯れていて、それに沿うように 2 本の若いエノキが伸びている）と石受稲荷神社の大楠（目通り 5.1m）を観察して、乳牛通りへと進みます。乳牛は「ちゅうし」と読み、牛を飼っている所の意だそうです。この通りを 20 分程歩きますと、曽屋水道記念公園に着きます。秦野市の水道は、横浜、函館に次いで 3 番目の水道となります。曽屋の「曽」は、これまた牛乳に関係し、今で言うチーズを作る家の意と言うことです。ここから登り道を 10 分程進むと、いよいよ葛葉緑地に着きます。

昼食後、緑地内観察の開始です。あまり見ることのない、ハンカチノキの苞に包まれた花や房状に垂れ下がるハクウンボクの

花を見て、葛葉川に架かるくずはの吊り橋を渡り、川面に降りると露頭が見られます。幾重にも地層が重なっており、地質学的には吉沢（きさわと読みます）ローム層と名付けられています。

露頭から戻り、丹沢の岩石陳列所がある所で、葛葉緑地のマスコットの「もりりん」と一緒に記念撮影です。

どんぐり山の道を登る途中にハンショウズルの花が何か所かで咲いていました。今年は、例年になく咲いているとのことです。
いったん園の外に出て、けやきの道に入ります。樹林の中の細い道を進み、キンラ

ン、タツナミソウを見て、うぐいすの道に入るとツルカノコソウが多く伸びています。
うぐいすの道を後にし、葛葉川に沿ってしばらく歩くと最後の観察地の九沢の竹林に入ります。この竹林は、一見太さからモウソウチクに見えますが、節の輪が二本ありますので、マダケです。この時期、タケノコの成長に養分が取られタケが枯れているように見えますが、竹の秋ということです。竹秋を観察して、本日の観察会を、終了としました。観察した草木、樹木、野鳥を以下に示します。

草木：キショウブ、カラー、シロバナタツナミソウ、ジシバリ、アメリカフウロ、イモカタバミ、アカバナユウゲショウ、スズメノヤリ、ヒメコバンソウ、ミヤコグサ、ハハコグサ、セリバヒエンソウ、ヘビイチゴ、クサイチゴ、ツルカノコソウ、カテンソウ、オドリコソウ、クサノオ、ショカッサイ、クレソン、ダイコンノハナ、ハルジオン、タツナミソウ、キンラン、マダケ

樹木：ヤマボウシ、ミズキ、ニシキギ、ニセアカシア、クスノキ、タイサンボク、ハンカチノキ、ハクウンボク、エゴノキ、ガマズミ、カマツカ、マユミ、フジ、エンコウカエデ、ミツデカエデ、ハンショウズル、ハナイカダ、ウツギ各種（ウツギ、ミツバウツギ、ハコネウツギ、ココミウツギ、マルバウツギ、サラサウツギ）

野鳥：カルガモ、マガモ、ヒヨドリ、シジュウガラ、ウグイス、ガビチョウ、コジュケイ、メジロ　（記：渡邊）

＜コース概略＞
秦野駅 10:30～弘法の清水 10:45～今泉湧水池 11:15～八坂神社 11:25～曽屋水道記念公園 11:55～12:20 葛葉緑地（昼食・休憩含む）14:30～15:00 秦野駅
＜参加者＞森(武)、込田、森(静)、丸山、大字、川俣、野田、葉上、藤川、渡邊

大磯鷹取山・湘南平

かながわ山岳誌プロジェクトＬコース

令和 5 年 5 月 3 日(水)

本山行は、かながわ山岳誌プロジェクトでの最終山行で、4 月 15 日に予定していたのだが、雨天で中止となったため、この 5 月 3 日実施となった。幸いにも、この日は、朝から快晴となった。

JR 二宮駅からバスに乗車し、生沢バス停で下車。車道を歩いていくと、関東ふれあいの道の道標が現れる。その行き先が鷹取山となっていた。道標に従い進むと、竹林となった。だが竹林は、すぐ終了してしまい、その先は、シダが茂り、濃い緑の樹林帯となる。

樹林の密度が高く、遠景が全く見えない状況での急登が続く。すると、突如、鳥居が目の前に現れた。鷹取神社の鳥居だ。ここには、神奈川県指定天然記念物「鷹取神社の社叢林」という説明板が立っていて、タブノキ、スダジイ、カゴノキ、ヤブニッケイ、モチノキ、シロダモとともに常緑広葉樹林が形成されていると書かれてあった。少し海から離れているが、高麗山と同じような樹林帯だ。

鳥居を過ぎると本殿が見えてきた。鷹取神社に参拝した後、さらに奥の少し高くなっている箇所へ進んでいく。辺りは常緑広葉樹の大木が目立つ。

一番高い箇所は、広場のようになっていて三角点が簡単に見つかった。ここが大磯鷹取山の頂上のようだ。特に山頂標識のようなも

大磯鷹取山にて

のは見当たらない。また360度、樹林に囲まれているので、残念ながら展望は広がらなかった。記念撮影後、北側に下っていく。

やがて、左下ゴルフ場コースが見えてきた。10:37、分岐点に到着。直進は、関東ふれあいの道で妙円寺に続く。右折は、湘南平・霧降り渓流のみちとなる。ここで、徒歩組とバス組に分かれ、徒歩組が先行し、湘南平・霜降り渓流のみちへと進む。（バス組は、その後、松岩寺バス停から平塚駅へ向かった）

徒歩組は、その後、ゆるぎの丘里山農園の前に出た。ここからは、大山や表尾根方面の景色が広がる。さらに東へと進み、ゆるぎの丘に出た。

ゆるぎの丘

その後、松岩寺の山門前で小休止。徐々に暑くなり、この寺入口での木陰がオアシスのようだった。松岩寺を出発すると、湘南平・霜降り渓流のみちは、車道歩きとなるが、道標がなかなか見つからない。新幹線の上を通り過ぎた後、ようやく湘南平への道標を発見する。

丘陵を歩くと、進路方向に湘南平のテレビ塔が見えた。まだ、ここから結構な距離があることに気づく。

湘南平のテレビ塔が見えた

途中、愛宕神社前でランチタイムとし、さら歩き続けると、辺りは住宅街となった。

やがて、湘南平へのバス通りに合流する。ここから、車道横を登り続け、13:25湘南平に到着。

その後、バス組や湘南平合流組と合流し、かながわ山岳誌プロジェクトの踏破完了のセレモニーを実施。支部長挨拶から始まり、踏査完了宣言、感謝状贈呈、乾杯、参加者のショートスピーチ、報告書出版の概要説明等を行った。清々しい青空の下で、このようなセレモニーが開催できたのが非常に感動的だった。　（記：永井）

湘南平 岡野金次郎顕彰碑前にて

＜コース概略＞
バス移動組：
二宮駅南口9:05＝(バス)＝9:17生沢BS9:25〜10:13大磯鷹取山 10:25〜11:10 霜降の滝（昼食)11:25〜11:40松岩寺〜11:45松岩寺BS12:15＝（バス）＝12:45平塚駅北口 13:12＝(バス)＝13:35湘南平(セレモニー実施）14:35〜15:30大磯駅（解散）
徒歩組：
大磯鷹取山まではバス移動組と同じ。大磯鷹取山 10:25〜10:57 ゆるぎの丘〜11:22 松岩寺 11:25〜11:53 新幹線の高架橋〜12:03 愛宕神社（昼食）12:25〜13:25 湘南平
＜参加者＞
バス移動組：大槻、込田、堀江、高井(延)、打矢、中島、砂田、細川、國清、森(静)、冨岡、藤川、関口、平林、丸山、山賀
徒歩組：森(武)、稲垣、大字、高橋、本村、永井
湘南平合流組：川俣、野田、和田

イベント報告

山菜採りハイキング　妙高高原活動

令和５年５月 27 日(土)～29 日(月)
５月 27 日(土)

天気は上々、今日は絶好の山菜採り日和になりそうだ。

11：30、北陸新幹線「上越妙高駅」に、東京・横浜から新幹線で６名、バイクで上田から１名の計７名が集合し、リーダーで地元の小笠原さんの笑顔に迎えられた。まずは腹ごしらえと、向かった先は１か月前にオープンしたばかりのオーベルジュの瀟洒なレストランだった。初めての顔合せの参加者もいるので、自己紹介をしながら美味しいお寿司を頂き、ワラビ採りの英気を養った。

13:00、いよいよ斑尾高原へと向かう。田んぼには水が入り、田植えが始まっていた。高原に入るとニセアカシアの白い花が飛び込んできた。すると、小笠原さんが「この白い花が今夜のてんぷらに出ますよ。」と話してくださった。あふれんばかりの緑の森をフジ・桐・ホウの花が華やかに彩っている。

13:30、万坂峠着。いよいよわらび採りが始まる。わらび採りの前に、小笠原さんから「ワラビの先が開いているのは固いので取らないように」、「標高の高いほうに良いワラビがあるので、低いほうにあるのは見ても取らないように」と注意があったのに、見つかり始めると、「アッタ！」「こっちにも！」とワラビと目が合うと手が伸びてしまう。初めは良く見えなかったワラビも、だんだん見つかるようになり、ワラビが「ここよ」と飛び込んでくるから不思議だ。これがワラビ目なのだろうか？見つけては歓声を上げていた面々も、だんだん無口になり、夢中でズンズン上へ上へと上がっていく。戦利品があると皆、馬力が違うようだ。

振り返るとまだかなり雪をまとっている黒姫と妙高が見守ってくれている。

途中で出会った方のワラビを見せていただくと、太く黒くて立派だ。「上のほうには刈り取るほどありますよ」と言われ、わくわく感が止まらない。

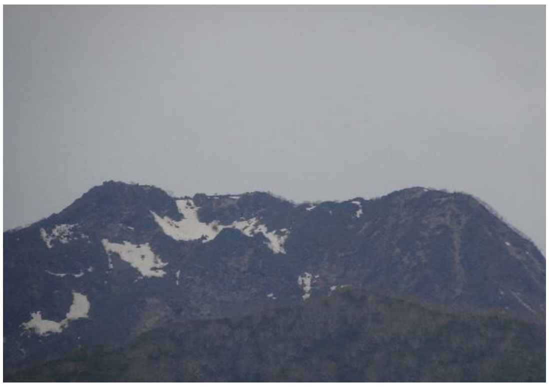
確かに、上の広い場所はワラビ畑のようだった。 １本見つかると、周りぐるりと 10 本見つかるほどだった。昨年のこの場所はワラビが採られた跡ばかりでほとんど採れなかったそうだ。皆、もう大満足。気が付くと少年・少女の顔になっていた。袋がだいぶ重くなってきたところで、各自収穫したワラビを広げて得意げに記念写真を撮った。後は下るだけ、十分とったはずなのに思わずワラビに手が伸びてしまう。「連れてって」と言われているようだ。

15:00、宿「赤倉ユアーズ・イン」に到着すぐに、収穫したワラビを新聞紙に包み、冷蔵庫に保存した。 これで終わりと思ったら、小笠原さんのご厚意で敷地内にある山ウドを収穫することになった。持ってきたカッターナイフで山ウドの柔らかいところを切ると、みずみずしい山の香りが広がり、大好きな山菜になった。夕食まで温泉につかり、汗を流しさっぱりした。

19:00、夕食「赤倉ユアーズ・イン」の楽しみの一つ。早速、ニセアカシア・フジの花・山ぶどうの新芽・山ウドのてんぷらが出てきた。パリパリで、ほのかな甘み、ブドウの香り、藤色がうっすらと綺麗だ。ワラビのペペロンチーノ、筍のクリームスープ、和牛のサーロインステーキが美味しかった。

20:00、心もお腹も満たされて、グラス片手に話は盛り上がり、小笠原さんの学生時代の登山の話に皆が笑い転げた。

収穫したワラビの戦果を前に記念写真



妙高の山頂直下の残雪で出来た文字

5月28日(日)
　爽やかな高原の朝、今日は妙高の山頂に「山」の字の残雪がはっきりと見えた。
　8:30、予定より30分早く出発。
　9:00、今日も万坂峠まで行き、昨日とは逆方向の信越トレイル(袴湿原、袴岳トレイル)を歩く。ピンクのタニウツギに迎えられ、足元には可愛いチゴユリやツバメオモトのみずみずしい葉が光っている。上を見上げると手つかずのブナ林が広がり、思わず深呼吸をする。
　今日の山菜はてんぷらにするとタラの芽より美味しい「コシアブラ」を狙うという。小笠原さんから詳しい見分け方のレクチャラーを受けたが、似ている木がいっぱいあり、なかなか見つからず苦戦する。女性軍はエンレイソウ、ツクバネソウ、サンカヨウの白い花があふれんばかりに咲いて夢心地になっていた。それでも頑張って少しずつコシアブラも見つかり、ネマガリダケも取れはじめた。チシマザザの中に目を凝らしてみるが、道沿いにあるものは細くて、小笠原さんから何度もダメ出しされる。

サンカヨウ

　10:00、袴湿原に入る。雪解けしたばかりかショウジョウバカマが咲き、池の中ではミツガシワが群がっていた。ここから袴岳への急登が続くが、素晴らしいブナ林に励まされ、休みなく一気に山頂を目指す。途中で、根性のある女性が2センチはあるネガマリダケを見つけて、やっとやっと小笠原さんから最初の合格をもらった。
　10:50 袴岳（1135m）着。山頂でネマガリダケを取っているおじさんに出会い、見せて頂くと、2センチ以上の立派なものばかりだった。今年は不作だという。しばらくして収穫のため笹の中に入っていった。少し早いがここで昼食となった。残雪の多い高妻山、乙妻山、黒姫、妙高山の雄姿を眺めながらのランチになった。
　食後、小笠原さんからネマガリダケのむき方を教えていただく。①穂先を斜めにカットする。②センターに縦に筋を入れる。③下から皮をむいていく。みるみるむかれていくネマガリダケは小笠原さんの手の中で本当にか細くなってしまった。
　11:30、赤池に向け出発。小笠原さんがピッチを上げた。稲垣さんがピッタリ続くので、皆必死でついていく。それでもネマガリダケを見つけ、コシアブラを探し、山ウド、イタドリをゲットした。誰もが山菜採りの目つきになっているようだった。

イワカガミ

　12:30 赤池到着。今日も大収穫。皆、自分の収穫物を広げ満面の笑みで記念写真を撮る。広げてみるとネマガリダケもかなり取れていた。取れたてのイタドリと山ウドに唐辛子みそとマヨネーズを付けて、皆で食べてみた。薫り高く、柔らかくなかなかの好評だった。
　13時過ぎに出発し、13：40　万坂峠着。
　14:10、宿着。今日、東京へ帰る3人は大急ぎで収穫したワラビ、山ウド、ネマガリダケをお土産に、小笠原さんの車で妙高高原駅へ向かった。上田へ帰る彼女は再会を約束して颯爽とバイクで去っていった。
　二日間天候に恵まれ、思いがけないほどの大収穫に、皆、大満足の山菜採りハイキングになった。これもしっかり下見をして、丁寧に案内してくださった小笠原さんのお陰と一同感謝の意を表す。そして、沢山の恵みをくれた豊かな森に、心から感謝した。
5月29日(月)
　やっぱり、予報通り、朝から雨だ。疲れた

体に雨も優しい。二日間たっぷり山菜採りを堪能したので、美味しい朝食をいただいた後、宿を出発し、帰路に就いた。(記：丸山)
＜参加者＞小笠原、山田、稲垣、細川、森(武)、森(静)、丸山、吉田(千葉)

役員会報告

4 月役員会

日時：4 月 20 日(木)19：00～20：50
場所：かながわ県民センター710 会議室
出席者：込田支部長、永井事務局長、森、田島、中島、柴山
オンラインでの参加：大槻、早川、落合、葉上、渡辺、青木
オンラインで参加の監事：砂田
委任状による出席：長島、出江、廣岡
〔報告事項〕
(1)連絡事項
・4/16：北丹沢神ノ川流域山開き。(結果は未確認)
(2)山行報告
・3/21 に山岳誌プロジェクトＨコースとして、秦野駅南口＝(タクシー)＝丹沢ホーム～札掛分岐～下ノ丸～上ノ丸～札掛分岐～札掛～ヨモギ平～ボスコキャンプ場～ヤビツ峠＝(バス)＝秦野駅を実施。参加者は 6 名。
・4/8 に古道プロジェクトとして、小田原駅東口 BS＝（バス）＝元箱根港 BS～賽の河原～一の鳥居～旧街道権現坂上～お玉が池～精進が池歴史館・石仏群～芦之湯東光庵（昼食）～湯坂道入口～鷹ノ巣山～浅間山～大平台分岐～湯坂山～湯坂城址～箱根湯本駅を実施。参加者は 7 名。
・3/18 の第 1 回城跡ハイキングと 4/15 の山岳誌フィナーレ山行は、雨天のため中止とした。
〔審議事項〕
(1)年間計画
・城跡ハイキング：当初案の５月実施予定分は来年以降に行う。9 月分からは当初案通り実施する。
(2)山行計画
・4/22 に関東ふれあいの道の第 1 回山行として、三浦海岸駅＝(バス)＝松輪～間口漁港～劔崎灯台～車道に出る～（車道歩き）～白浜毘沙門天～港に出る～（車道歩き）～磯に入る～盗人狩～車道に出る～宮川町 BS を実施予定。留守本部は葉上と渡辺が担当。
・4/29 に自然観察会として、秦野駅～弘法の清水～今泉湧水池～八坂神社～曽屋水道記念公園～曽屋神社～葛葉緑地（昼食）～-秦野駅を実施予定。留守本部は大槻と中島が担当。
・5/3 に山岳誌プロジェクトのフィナーレ山行として、二宮駅南口＝（バス）＝生沢 BS～大磯鷹取山～霜降の滝～松岩寺～松岩寺 BS＝（バス）＝平塚駅北口＝（バス）＝湘南平～大磯駅を実施予定。なお、健脚の希望者があれば、霜降の滝～松岩寺～新幹線の高架橋～愛宕神社～湘南平も実施予定。また、湘南平で 13:40 頃から踏査完了を祝して簡単なセレモニーを予定している。留守本部は現地対応とし、込田と永井が担当。
・5/13 に第 1 回城跡ハイキングとして、横浜地下鉄センター北駅～横浜市歴史博物館～大塚遺跡～茅ケ崎城（昼食）～センター南駅＝（横浜市営地下鉄乗車）＝新横浜駅乗り換え（JR 横浜線乗車）＝小机駅～小机城～小机駅を実施予定。留守本部は大槻と込田（現地対応）が担当。
(3)その他
・永井より、支部総会の資料について説明があった。
・葉上より、古道プロジェクトの活動報告について説明があった。
・永井より、中山顧問からの提案内容についての説明があった。
・支部総会：講演会の実施・開始時刻・懇親会の実施については、支部長と事務局長に一任。
・南関東 3 支部山行：当支部が幹事として秋に実施予定。
・全国支部懇談会：当支部主管で来年の秋に実施予定。昨年検討した案をもとに具体案を検討する。

5 月役員会

日時：5 月 18 日(木)19：00～19:55
場所：かながわ県民センター709 会議室
出席者：込田支部長、永井事務局長、森、中島
オンラインでの参加：大槻、早川、落合、葉上、渡辺、出江、長島、青木
オンラインで参加の監事：砂田
委任状による出席：柴山、田中
〔報告事項〕

(1)連絡事項
・群馬支部主管で 9/23・9/24 に水上町で開催される全国支部懇談会の開催案内が紹介された。参加希望者は 7/1 までにメールで永井に申し込むこと。
(2)山行報告
・4/22 に関東ふれあいの道の第 1 回山行として、三浦海岸駅＝(バス)＝松輪～間口漁港～剱崎灯台～車道に出る～（車道歩き）～白浜毘沙門天～港に出る～（車道歩き）～磯に入る～盗人狩～車道に出る～宮川町 BS を実施。参加者は 10 名。
・4/29 に自然観察会として、秦野駅～弘法の清水～今泉湧水池～八坂神社～曽屋水道記念公園～曽屋神社～葛葉緑地（昼食）～-秦野駅を実施。参加者は 10 名。
・5/3 に山岳誌プロジェクトのフィナーレ山行として、二宮駅南口＝（バス）＝生沢 BS～大磯鷹取山～霜降の滝～松岩寺～松岩寺 BS＝（バス）＝平塚駅北口＝（バス）＝湘南平～大磯駅を実施。参加者は 16 名。健脚組は、霜降の滝～松岩寺～新幹線の高架橋～愛宕神社～湘南平を踏査した。参加者は 6 名。また、湘南平で 13:40 頃から踏査完了を祝して簡単なセレモニーを実施した。参加者は 25 名。朝日新聞の記者が取材に訪れた。
・5/13 に予定していた第 1 回城跡ハイキングは、雨天のため中止とした。
［審議事項］
(1)年間計画
・城跡ハイキングは、9/9 に津久井城山で第 1 回を実施予定。
(2)山行計画
・5/27～5/29 に妙高高原を中心とした山域で山菜取りを含めたハイキングを実施予定。現在の参加希望者は 7 名。留守本部は込田と中島が担当。
・6/3 に自然観察会として、西鎌倉駅 10:30～御所谷入口（緑地入口）10:45～緑地内観察午前の部(大エノキ、石切り場、桜大木など)～12:00 広場(昼食)13:00～緑地内観察午後の部（きはちの窪、相模湾の眺望所、大桐、富士山の眺望所など）～広場 14:30～西鎌倉駅 15:00 を実施予定。留守本部は永井と渡辺（現地対応）が担当。
・6/10 に関東ふれあいの道の第 2 回山行として、三崎口駅 9:22＝(バス)＝9:37 三崎港バス停 9:50～10:00 歌舞島公園 10:10～10:17 見桃寺 10:20～10:55 諸磯湾～11:00 油壺湾分岐点～11:12 油壺公園 11:15～11:25 油壺温泉バス停(トイレ休憩)11:35～11:55 田辺大禺句碑～〈荒井浜〉～12:02 三浦一族資料館 12:12～〈胴網海岸〉～12:30 昼食 12:50～〈胴網海岸〉～13:00 三浦道寸墓 13:05～13:20 京急油壺温泉キャンプパーク～13:30 油壺温泉バス停＝(バス)＝三崎口駅を実施予定。留守本部は葉上と渡辺が担当。
(3)その他
・森より、かながわ山岳誌プロジェクトの踏査完了を受けて、踏査データの紹介があり、現在の支部活動状況の問題点が指摘された。
・葉上より、神奈川岳連も参加している水質調査に 6/3 と 6/4 に参加する旨の説明があった。
・葉上より、古道に関して神奈川新聞に掲載された内容の紹介があった。
・永井より、支部総会の準備状況について説明があった。実出席：28 名、委任状を含めた出席者 71 名。在籍者 132 名の過半数を超えているので総会は成立する見通し。
・込田より、次の 2 件の担当責任者の指名があった。南関東 3 支部山行：田島、全国支部懇談会：中島。

6 月役員会
日時：6 月 15 日(木)19：00～20:25
場所：かながわ県民センター709 会議室
出席者：込田支部長、永井事務局長、森、田島、中島、出江、廣岡
監事：砂田
オンラインでの参加：大槻、落合、葉上、渡辺
委任状による出席：早川、長島、柴山、青木
〔報告事項〕
(1)連絡事項
・群馬支部主管で 9/23・9/24 に水上町で開催される全国支部懇談会の当支部からの参加希望者は現時点で 5 名。締め切りは 7/1。再度、参加募集をアナウンスすることにした。
(2)山行報告
・5/27～5/29 に妙高高原を中心とした山域で山菜取りを含めたハイキングを実施。参加者は 7 名。メインの 2 日間は好天に恵まれ、山菜も十分に採れ、参加者は満足していた。丸山さかえさんが記した報告文を支部報に掲載予定。
・6/3 に予定していた自然観察会(鎌倉)は雨天のため中止とした。
・6/10 に予定していた関東ふれあいの道（油壺）は雨天のため延期とした。

［審議事項］
(1)年間計画
・9/9 に城跡ハイキング（津久井城跡）
・10/14 に関東ふれあいの道ハイキング（油壺）
(2)山行計画
・8/2～8/4 に妙高赤倉温泉をベースとして長岡花火大会見学と白馬散策などを実施予定。参加希望者は 7 名。山想クラブとのジョイントで実施する。当支部のまとめ役は砂田が担当。留守本部は、込田と永井が担当。
(3)その他
・永井より、「山岳」に掲載する神奈川支部の活動報告に関して、6/10 に提出した旨の報告があった。
・葉上より、神奈川岳連も参加している水質調査を 6/4 に実施した旨の説明があった。
・永井より、県岳連のイベントへの協力依頼が来ている旨の説明があった。8/11 の山の日イベントのスタッフとして、込田、田島が参加予定。11/5 の県民登山のイベントに永井が参加予定。
・込田、中島より、湘南平での岡野金次郎碑前祭を来年から継続的に実施する提案があり、平塚市など関係者と協議していくことが承認された。さらに、その第 1 回の開催を当支部主管で実施予定の全国支部懇談会に合わせて行いたいとの提案があり、今後日程などの具体的作業を進めることも了承された。

支部会員動静

・物故：14072 稲原明
・退会：11341 高橋てる子、15868 平松有輝子、A0452 小宮佳子
・準会員から正会員への異動：
17066 石川千嘉

今後の予定

役員会

7 月 20 日(木)19 時～ 709 会議室
8 月 無し
9 月 21 日(木)19 時～ 709 会議室
10 月 19 日(木)19 時～ 703 会議室
11 月 16 日(木)19 時～ 709 会議室
12 月 21 日(木)19 時～ 708 会議室
1 月 18 日(木)19 時～ 709 会議室
2 月 15 日(木)19 時～ 会議室未定
3 月 21 日(木)19 時～ 会議室未定
於：かながわ県民センター

イベント(県岳連関連)

8 月 11 日(金) かながわ山の日 in HADANO
フォトロゲイング(スタッフ参加)
11 月 5 日(日) 県民登山(三ノ塔)

イベント(城跡ハイキング)

9 月 9 日(土) 津久井城
11 月 11 日(土) 土肥城
1 月 13 日(土) 小田原城
3 月 9 日(土) 八王子城

イベント(関東ふれあいの道ハイキング)

10 月 14 日(土)油壺・入江のみち
12 月 9 日(土) 荒崎・潮騒のみち
2 月 3 日(土) 佐島・大楠山のみち

イベント(自然観察会)

9 月 30 日(土) 厚木野草園と荻野川中流域
2 月 17 日(土) 相模原貯水池と相模原公園

イベント(その他)

8 月 2 日(水)～4 日(金) 長岡花火大会
&白馬散策等
9 月 23 日(土)・24 日(日)全国支部懇談会
(群馬支部)
11 月 10 日(金) 南関東 3 支部懇親山行
(藤野)

あとがき

「かながわ山岳誌」プロジェクトは、編集作業フェーズにシフトしました。完成は、来年 1 月を予定しています。ただ今、各踏査記録の頁割当てや、原稿内容チェック、最終頁数確認などを実施中です。一方、新規プロジェクトの城跡ハイキングが雨天で 2 回延期となってしまいました。次回こそは、晴れて欲しいものです。
今回から、今後のイベントにつきましては、確定とは断定できませんが、支部報に日程を極力アップするようにしました。今後のスケジュールにご活用頂ければ幸いです。(き)

発 行：日本山岳会神奈川支部 支部長：込田伸夫
編集者：田島、永井、葉上
令和 5 年 8 月 1 日